

令和 5 年度

横芝光町決算審査意見書

病 院 事 業 会 計

横芝光町監査委員

横 監 第 1 5 号

令和 6 年 8 月 2 6 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 大木 薫

横芝光町監査委員 鈴木 克征

令和 5 年度横芝光町一般会計・特別会計決算及び基金運用状況の
審査意見について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項の規定により審査
に付された令和 5 年度横芝光町一般会計・特別会計歳入歳出決算及び証拠書
類、その他政令で定める書類並びに基金の運用状況を審査したので、別紙の
とおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第 1 審査の対象

令和 5 年度 横芝光町病院事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 6 年 8 月 2 0 日

第 3 審査の手続き

決算審査に当たっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

区 分		5年度	4年度	比較増減	
病 床 数		95 床	95 床	0 床	
	一 般	55 床	55 床	0 床	
	医療療養	40 床	40 床	0 床	
年 間 延 病 床 数		34,770 床	34,675 床	95 床	
	一 般	20,130 床	20,075 床	55 床	
	医療療養	14,640 床	14,600 床	40 床	
診療日数		入 院	366 日	365 日	1 日
		外 来	243 日	243 日	0 日
延患者数	入 院	年 間	22,051 人	20,452 人	1,599 人
		1 日 平均	60.2 人	56.0 人	4.2 人
	一 般	年 間	10,032 人	9,855 人	177 人
		1 日 平均	27.4 人	27.0 人	0.4 人
	医療療養	年 間	12,019 人	10,597 人	1,422 人
		1 日 平均	32.8 人	29.0 人	3.8 人
	外 来	年 間	35,793 人	34,367 人	1,426 人
		1 日 平均	147.3 人	141.4 人	5.9 人
入院・外来延患者数		60,034 人	57,011 人	3,023 人	
病 床 利 用 率		63.4 %	59.0 %	4.4 ポイント	
	一 般	49.8 %	49.1 %	0.7 ポイント	
	医療療養	82.1 %	72.6 %	9.5 ポイント	
患者1人1日 当たり診療収入		入 院	29,839 円	27,257 円	2,582 円
		外 来	8,630 円	8,440 円	190 円
医 業 収 益		1,064,499 千円	965,614 千円	98,885 千円	
医 業 費 用		1,617,108 千円	1,531,658 千円	85,450 千円	
収 支 差 額		△ 552,609 千円	△ 566,044 千円	13,435 千円	

※1日平均の外来患者数は、各診療科目の診察日数で算出された1日平均の患者数の積算である。

※金額は、消費税及び地方消費税を含んだ数値である。

本年度の年間入院患者数は22,051人（1日平均60.2人）で、前年度と比べ1,599人（1日平均4.2人）の増加である。また、年間外来延べ患者数は35,793人（1日平均147.3人）で、前年度と比べ1,426人（1日平均5.9人）の増加であり、病床利用率は63.4%で、前年度と比較して4.4ポイントの増加である。患者1人当たりの診療収入は、入院で29,839円（対前年度比9.5%増）、外来で8,630円（対前年度比2.3%増）である。

2 決算状況

（1）収益的収入及び支出

（収益的収入）

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
病院事業収益	千円 1,828,239	千円 1,621,017	千円 △ 207,222	% 88.7	% 86.0
医療収益	1,282,324	1,064,500	△ 217,824	83.0	78.8
訪問看護 ステーション収益	24,861	19,705	△ 5,156	79.3	79.6
医療外収益	521,052	535,363	14,311	102.7	101.0
特別収益	2	1,449	1,447	72,450.0	350,000.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業収益は、予算現額 1,828,239 千円に対し、決算額は 1,621,017 千円（うち仮受消費税額 5,676 千円）である。予算現額に対する収入率は 88.7%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業費用	1,827,222	1,692,777	134,445	92.6	91.1
医業費用	1,738,953	1,617,107	121,846	93.0	92.0
訪問看護 ステーション費用	36,897	34,968	1,929	94.8	93.7
医業外費用	50,370	40,702	9,668	80.8	65.4
特別損失	2	0	2	0.0	0.0
予備費	1,000	0	1,000	0.0	0.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業費用は、予算現額 1,827,222 千円に対し、決算額は 1,692,777 千円（うち仮払消費税額 34,223 千円）である。

予算現額に対する執行率は 92.6%で、不用額は 134,445 千円である。

支出の主なものは、医業費用の給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	138,574	135,972	△ 2,602	98.1	99.9
企業債	110,000	107,400	△ 2,600	97.6	-
出資金	27,668	27,668	0	100.0	100.0
補助金	906	904	△ 2	99.7	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 138,574 千円に対し、決算額は 135,972 千円である。予算現額に対する収入率は 98.1%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	174,700	161,558	13,142	92.5	96.9
建設改良費	137,672	124,531	13,141	90.5	95.9
企業債償還金	37,028	37,027	1	99.9	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 174,700 千円に対し、決算額は 161,558 千円である。

予算現額に対する執行率は 92.5%で、不用額は 13,142 千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 25,586 千円は、過年度分損益勘定留保資金から補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	病院事業収益（総収益）		病院事業費用（総費用）		差引額 （純利益）	総収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
5年度	1,615,341	104.4	1,687,967	105.8	△ 72,626	95.7
4年度	1,547,157	97.6	1,595,413	99.6	△ 48,256	97.0

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の病院事業収益（総収益）は 1,615,341 千円、病院事業費用（総費用）は 1,687,967 千円で、本年度決算における純利益は△72,626 千円である。昨年度と比較して赤字額が増加した主な理由は、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金が終了または縮小したことによるものである。

(医業収益・医業費用)

区 分	医業収益		医業費用		差引額 （医業利益）	医業収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
5年度	1,059,593	110.2	1,583,325	105.7	△ 523,732	66.9
4年度	961,132	93.0	1,498,597	99.8	△ 537,465	64.1

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

医業収益から医業費用を引くと、本年度の医業利益は△523,732 千円である。その損失を補填するため、他会計負担金などの医業外収益でこれを補ったものである。

なお、医業活動の成果を示す医業収支比率は 66.9%で、前年度と比較して 2.8 ポイントの増加である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目	5年度		4年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業収益	1,615,341	100.0	1,547,157	100.0	68,184	4.4
1 医業収益	1,059,593	65.6	961,132	62.1	98,461	10.2
2 訪問看護 ステーション収益	19,671	1.2	19,822	1.3	△ 151	△ 0.8
3 医業外収益	534,628	33.1	559,203	36.1	△ 24,575	△ 4.4
4 特別利益	1,449	0.1	7,000	0.5	△ 5,551	△ 79.3

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業収益は 1,615,341 千円で、前年度と比較して 68,184 千円（4.4%）の増加

である。これを科目別にみると、医業収益は1,059,593千円で、前年度と比較して98,461千円（10.2%）の増加である。主な理由は、入院収益で前年度と比較して100,516千円（18.0%）増加、外来収益で前年度と比較して18,863千円（6.5%）増加したことによるものである。

訪問看護ステーションの収益は19,671千円で、前年度と比較して151千円（0.8%）の減少である。

医業外収益は534,628千円で、前年度と比較し24,575千円（4.4%）の減少である。主な理由は、新型コロナウイルス感染症の補助金が昨年度と比較して減少したことによるものである。

（3）費用

（事業費用）

科 目	5年度		4年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業費用	1,687,967	100.0	1,595,413	100.0	92,554	5.8
1 医業費用	1,583,325	93.8	1,498,597	93.9	84,728	5.7
2 訪問看護 ステーション費用	34,790	2.1	32,176	2.0	2,614	8.1
3 医業外費用	69,852	4.1	64,640	4.1	5,212	8.1
4 特別損失	0	0.0	0	0.0	0	—

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業費用は1,687,967千円で、前年度と比較して92,554千円（5.8%）の増加である。

医業費用は1,583,325千円で、前年度と比較して84,728千円（5.7%）の増加である。主な理由は、職員数の増加及び看護師等の処遇改善に伴う給与費の増並びに外来・入院患者の増及び手術件数の増に伴う材料費の増によるものである。

訪問看護ステーション費用は34,790千円で、前年度と比較して2,614千円（8.1%）の増加である。

医業外費用は69,852千円で、前年度と比較して5,212千円（8.1%）の増加である。主な理由は、長期前払消費税償却費、労働紛争の和解金及び法律相談に係る雑損失が増加したことによるものである。

4 財政状態

（1）資産の部

科 目	5年度		4年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定資産	2,616,431	91.1	2,640,784	87.7	△ 24,353	△ 0.9
2 流動資産	256,881	8.9	370,644	12.3	△ 113,763	△ 30.7
3 繰延勘定	—	—	—	—	—	—
資産合計	2,873,312	100.0	3,011,428	100.0	△ 138,116	△ 4.6

資産合計は2,873,312千円で前年度と比較して138,116千円（4.6％）の減少である。

（２）負債資本の部

科 目	5年度		4年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	203,480	7.1	121,142	4.0	82,338	68.0
2 流動負債	132,137	4.6	216,637	7.2	△ 84,500	△ 39.0
3 繰延収益	1,035,733	36.0	1,099,060	36.5	△ 63,327	△ 5.8
負債合計	1,371,350	47.7	1,436,839	47.7	△ 65,489	△ 4.6
4 資本金	2,895,051	100.8	2,895,051	96.1	0	0.0
5 剰余金	△ 1,393,088	△ 48.5	△ 1,320,462	△ 43.8	△ 72,626	5.5
資本合計	1,501,963	52.3	1,574,589	52.3	△ 72,626	△ 4.6
負債資産合計	2,873,312	100.0	3,011,428	100.0	△ 138,116	△ 4.6

ア 負債の部

本年度の負債合計は1,371,350千円で、前年度と比較し65,489千円（4.6％）の減少である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は1,501,963千円で、前年度と比較して72,626千円（4.6％）の減少である。

（３）財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	5年度	4年度	3年度
自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本（負債} + \text{資本）}} \times 100$	% 88.3	% 88.8	% 90.7
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	95.4	94.5	94.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	267.4	206.4	366.5

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は88.3%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は95.4%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は267.4%となっている。

むすび

令和5年度の入院の延べ患者数は22,051人（1日平均60.2人）で、前年度と比較して1,599人（1日平均4.2人）増加している。病床利用率は、一般病床が49.8%（前年度比0.7ポイント増加）、療養病床が82.1%（前年度比9.5ポイント増加）となっている。

また、外来延べ患者数は35,793人（1日平均147.3人）で、前年度と比較して1,426人（1日平均5.9人）増加している。

経営状況について消費税を除いた損益計算書でみると、収益では、収益の大宗を占める医業収益が前年度と比較して10.2%増加しているが、医業外収益は4.4%減少している。収益総額は68,184千円（4.4%）増加の1,615,341千円となっている。一方、費用は、前年度と比較して医業費用は5.7%、医業外費用は8.1%共に増加している。費用総額は92,554千円（5.8%）増加の1,687,967千円で、総体的な収支は72,626千円の赤字である。なお、医業収支は、523,732千円の赤字であるが、前年度と比較して13,733千円の減額赤字である。

全国でも千葉県は医師・看護師不足が深刻化しており、中でも医療過疎とされる当地域の慢性的な医師・看護師不足は、診療の縮小や休止を余儀なくされるなど、病院経営はより一層厳しさを増している中、当病院においては、医師数が増加したことにより、入院・外来ともに患者数が増加したことから、医業収益は回復傾向にある。

しかしながら一般会計からの繰入もいまだに多額であることから、繰入金縮減に向けてなお一層の取り組みが必要である。

医師、看護師等の不足・人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等、自治体病院を取り巻く環境は非常に厳しいところであるが、昨年度策定した東陽病院経営強化プランを活用し、地域医療の拠点として持続可能な経営を確保するよう努められたい。

また、今後の更なる人口減少に向けて、当院が地域の中で果たす役割・機能の最適化について検討されたい。